

ボランティアセンター通信

発行：社会福祉法人 鈴鹿市社会福祉協議会



心地よい春らしい暖かい日が続いています。新年度が始まってから早くも3週間が経ち、この春から新しい生活が始まった方々は、そろそろ慣れてきたころでしょうか。今年度も、鈴鹿市ボランティアセンターは、みなさんのボランティア活動をしっかりサポートさせていただきますので、どうぞよろしくお願いいたします！

さて、鈴鹿市ボランティアセンターでは令和5年度「点訳・音訳講座」の受講生を募集しています！初心者の方でもご参加いただける講座となっておりますので、これから新しいことにチャレンジしてみようという方は、ぜひご応募ください！

お知らせ



令和5年度 鈴鹿市ボランティアセンター「点訳・音訳講座」受講生募集！

鈴鹿市ボランティアセンターでは、ボランティア活動中の方や、これからボランティア活動を始めたい方への知識や技術習得のための講座を各種開講しています。全ての講座で初心者の方からご参加いただけます。みなさまの参加お待ちしております！

点訳講座(全18回)

視覚障がいのある方に、広報や図書を点字で訳していただく、ボランティアの養成講座です。

◇日 程 6月15日(木)～2月1日(木)毎月第1・3木曜日
※6月は第3・5木曜、8月は第1・3・5木曜

◇時 間 13:30～15:30

◇場 所 社会福祉センター1階A会議室
(神戸地子町383-1)

◇講 師 点訳グループともしび

◇対 象 ・鈴鹿市内在住・在勤・在学の方
・講座修了後、鈴鹿市内で点訳に関するボランティア活動予定の方

◇定 員 10名

◇受講料 2,800円(テキスト・点字器代を含む)

◆申込締切 6月7日(水)

※初回講座は必ずご出席ください



音訳講座(全14回)

視覚障がいのある方や活字を読むことが困難な方などに、市報などの広報や図書・雑誌の掲載内容を音声にして伝える「声」のボランティアの養成講座です。発声の基礎を学び、実際に市報や図書の音訳を体験します。

◇日 程 7月8日(土)～2月24日(土)毎月第2・4土曜日
※8月は休講、9月は第2・5土曜

◇時 間 13:30～15:30

◇場 所 社会福祉センター2階小会議室(神戸地子町383-1)

◇講 師 音訳グループ鈴の音

◇対 象 ・鈴鹿市内在住・在勤・在学の方
・講座修了後、鈴鹿市内で音訳に関するボランティア活動予定の方

◇定 員 10名

◇受講料 1,800円(テキスト代を含む)

◆申込締切 6月30日(金)

※初回講座は必ずご出席ください



鈴鹿病院「ボランティア」募集！

現在、鈴鹿病院ではボランティアさんを募集しています！
ご興味のある方はぜひご連絡ください！

◇日 時 平日13:00～16:00内で可能な時間
定期的でも1日のみでも可能です

◇場 所 鈴鹿市加佐登3-2-1

◇内 容 重症心身障がい者および筋ジストロフィー症で入院している患者さんの洗濯物の整理、衣類の整理、車いす等の清掃、余暇活動の支援(話相手、院内での車いす散歩援助、将棋、オセロなど)、パソコン作業援助、慰問(音楽等)

◇定 員 数名

◇その他 マスク着用必須
交通費なし、謝礼なし



【問合せ先】 鈴鹿市社会福祉協議会 地域福祉課 齋木
TEL:059-373-5750
FAX:059-382-7330

エンゼル会「託児ボランティア」募集！

ダウン症児の親の会として、三重県下で活動しています。
総会時の託児ボランティアさんを募集します。

◇日 時 5月14日(日) 13:00～16:30

◇場 所 河芸公民館
(津市河芸町浜田742)

◇内 容 ダウン症児(乳幼児～小学生)の託児

◇集合場所 河芸公民館

◇募集人数 10名程度

◆募集締切 4月24日(月)



【問合せ先】 鈴鹿市社会福祉協議会 地域福祉課 齋木
TEL:059-373-5750
FAX:059-382-7330

✿✿✿✿✿✿✿✿✿✿

みなさまよろしく
お願いいたします！



Dr. Shinya Kato is a smiling man with short dark hair, wearing a dark suit jacket over a light-colored shirt. He is positioned in the top left corner of the page.



Dr. Yoon is a professor of the Department of Health, Behavior, and Society, and the Center for Communications Programs at the Johns Hopkins University. He is also a senior advisor at the Center for Communications Programs. Dr. Yoon has been involved in numerous international health communication projects, including the development and implementation of a national HIV risk reduction campaign in South Korea, and the development and implementation of a national HIV risk reduction campaign in the Philippines. He is currently leading a team of researchers in the development and implementation of a national HIV risk reduction campaign in the Philippines.

